

み い し か ざ り ま く せ ん じ ゅ や ま
9. 見石飾幕(千珠山)

■ 指定日

昭和54年12月4日

■ 種別

有形民俗文化財

■ 年代

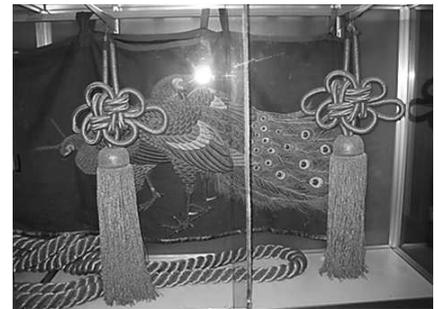
江戸時代後期～明治時代

■ 所在地

朝来市生野町小野 史跡生野银山

■ 所有者

小野区



■ 内容

現存する見石幕の一つ千珠山のものである。正面に金糸の鳳凰・側面に孔雀のつがいが、刺繍されている。

享保20年(1735)、千珠山を経営する山師・大野友右衛門は、御所務山になったのを祝って見石を出し、木遣唄をうたったといわれる。

大野家に残る手記には、囃子方7人(すり鉦3・横笛3・太鼓1)のほか木遣歌をうたう子供、綱引き20人程で予行演習を行い、山神祭り当日は、綱引きなど1,000人の参加があった、とある。